

令和7年度 第4回養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会 議事録

日 時：令和8年3月24日（火） 9時30分～10時14分
場 所：養老町役場 4階大会議室

【事務局】

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、ご多用中にも関わらず、養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会にご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日は、両会議の開催目的が共通しており、協議事項の連動性を考慮した結果、審議会及び委員会を同時開催とさせていただきます。ご了承のほど、よろしく申し上げます。

また本日、「養老町まちづくりビジョン後期テーマ別戦略等」の策定支援業者であるネクストアイ株式会社より、説明の補助のため2名同席させていただいております。ご了承ください。

それでは会議に先立ちまして、町民憲章の朗唱をお願いしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。

前段を私が読み上げますので、後段をご唱和願います。

－「町民憲章」の朗唱－

【事務局】

ありがとうございました。ご着席ください。

私は、総務部企画財政課長の中島でございます。よろしく願いいたします。

本日は、22名の委員様のうち20名の委員様にご出席をいただいております。養老町計画審議会設置条例第6条第2項および養老町地方創生推進委員会設置要綱第6条第2項に、本審議会および本委員会は、「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されていることから、本日の会議は成立しました。ただ今から、令和7年度第4回養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会を開催させていただきます。

はじめに、本日の資料のご確認をお願いいたします。

まず、本日の会議次第の方がございまして、裏面に委員名簿の方を記載させていただいております。

その下に、資料1として「第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）に対するパブリックコメントの結果について」、資料2として「第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）」がございまして。

お手元に揃っているかと思いますが、もし万が一、資料等に不足がある方は挙手によってお知らせをお願いいたします。

よろしいようでしたら、早速、協議事項に入らせていただきます。次第に基づき、順次進めてまいります。なお、議事録作成のため、本日の会議は録音させていただきますのでご承知おきください。

それでは、ここからの進行は、大宮会長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

【会長】

皆さん、改めまして、おはようございます。岐阜大学の宮中様でございます。

本日も皆様の闊達なご意見等を頂戴できたと思いますので、何とぞよろしく願いいたします。それでは、皆様のご協力により議事がスムーズに進行できるようお願いいたします。

では、次第に沿って進めていきたいと思っております。

関連があると思われまますので、協議事項の（１）第３期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）のパブリックコメント実施結果について、と協議事項（２）第３期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）について、併せて事務局よりご説明をよろしく願いいたします。

【事務局】

－ 資料 1、2 に基づき説明 －

【会長】

ご説明ありがとうございました。

ただいまご説明いただきましたパブリックコメントの結果、戦略の一部修正がございましたが、前回この審議会及び委員会で承認をいただきました第３期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）について、パブリックコメントについては２名の方からご意見をいただいたということでございます。

また、パブリックコメントではPDCAであるとか企業誘致、地域活性化、様々なアイデア、ご意見をいただいているところでございますけれども、総合戦略に関する町の取組を進めるにあたって、その参考、有益なご意見、として具体的な取組に反映していただければいいのかなというふうに考えているところでございます。

それでは、ただいまのご説明を踏まえまして、全体を通して何かご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

【委員】

ありがとうございます。

パブリックコメントがちゃんと来てよかったと、町がいろんな方向性を決めていこうとしているという事を住民の方もよく見ていて、そこに意見を言っているんだという、そういう事がちょっとずつ出来上がっているのかな、と感じてうれしく思います。

PDCAの話がパブリックコメントにもあったんですけども、いろいろ数値を出していただいて、専門的な情報、知識がある人には分かるんですけども、一般の住民の人に説明するには、単純に、こういう戦略を立ててこうやってみました、結果どうなりました、ということも、もう少し分かりやすく言うと伝わりやすいのかなと思います。トピックだけでも、一番力を入れたところはここでした、この戦略を立てたときに前回とは違ってこういう新しい戦略を立ててやってみました、結果どうでしたというのを、数字の違いだけではなく文章の方でもというふうに、どんな媒体を使って伝えていくかは分からないですけども、小学５年生でも分かるぐらいの報告が何かしらあると、ちゃんとPDCAが回っているんだということが伝わるのかなというふうに思います。後期の新しい戦略についても、ちゃんとPDCAを回しているんだよということも、見せていくということも大事なのかなというふうに思います。

先日、小学校再編委員会というのが始まったんですけども、やっぱりその中でもちゃんと町民にこういうふうな会議をしてこんな意見が出ているんだよというところを出していきりぎりまで、逐一じゃないですけども、タイムリーにお知らせしてほしいという意見がすごく多かったですね。やっぱりこの町に住む多くの人たちの思いだと思うので、今回のこの戦略を立てました、何月から実施していきます、今こんな感じですよというのを、もちろんホームページとかで出してくださっているとは思いますが、より伝わりやすい形で伝えていきます、という所も戦略の中に入れてもらおうと、さらに分かりやすいのか

などは思いました。

P D C Aって難しいと思うんですけども、特にこの大きな計画でいくと、ここに書かれた事というのは、大まかな方向性であって、実際に誰に託してどのように事業を運営していくのか、回していくのか、という所まではまだ書かれていないけれども、これを実際に誰がやります、どの団体とか、どの事業とか、立ち上がったプロジェクトをやりますとか、こうなりました、こんな効果がありました、という事を分かりやすく見せていくといいんじゃないかなと思います。

というのは、私そもそも公務員一家の娘で、役場とかそういうのが身近にあった環境で育ったので分かるんですけども、役場が全部やると思っている町民の方がすごく多いんですね。あくまで調整役だと思うんです、自治体って。実際にやるのは役場の人じゃない。誰かそのプロフェッショナルな人たちに委託して、実際に動かしていく。だけど、役場にいる職員が全部やると思っている人がすごく多いので、そういうものではなくて、役場は調整役。皆さんの意見をお聞きして、それをじゃあ実際にどうしていったらいいか、このプロフェッショナルな人たちと一緒に巻き込んでやろうとか、ここはお任せしようとか、工事もそうですよね、役場の職員さんが工事をやるわけじゃないから。そういう仕組みを皆さんあまり分からないので、役場が、役場が、と皆さんおっしゃるんですけども、そうじゃないという前提があつての、この計画、戦略だと思うので、皆さんから聞いた意見はちゃんとここに含んで方向性をつくりました、これをやるにあたっては、この人たちにお願いしました、お願いしたことをちゃんと監視しました、ちゃんとコミュニケーションを取りながらお願いした人たちがずれていきそうになったらちゃんと修正しましたよ、ちゃんと考えを一致させながら、方向性を一致しながらやって進めました、結果こうなりましたという、この流れみたいなものを分かりやすく見せながらやっていったほうがいいのかなと思います。

実際にその辺のことがよく分からないまま、何か委託した業者が変なことをしているぞ、どうなっておるんや役場はみたいな感じも多々あったと思うので、その方向性をつくる役場と委託する事業者とのP D C Aもちゃんとしているのかとか、というところも含めてやっていきますという形を見せられたらいいのではないかなというふうに思いました。

あと、若い人たちが働く場所は、というパブリックコメントがあつたんですけども、これはちょっと戦略とあまり直結はしないかと思うんですけども、以前総務省に関わる人からお聞きした話で、国に関わる補助金制度として特定地域づくり事業協同組合制度というのがあると。それは、要は組合をつくって、組合を通して働きたい人を集めて、それは町内・町外関わらず集めて、働き手が欲しい人のところに、斡旋じゃないですけども、紹介するという制度のようです。

そういう制度って私たちはあまり分からないんですけども、自治体だったら、国がいろいろやっている制度とか補助金というのを多分調べられると思うので、そういうものを上手に使いながら、自力でだけじゃなく、いろんなサポート、助けになる制度とか補助金もあると思うので、そこも含めて国や県と連携して養老町をつくり上げていけるといいのかなと思いますし、そうじゃないと多分町は回っていかないんじゃないかなというふうに思いました。以上、2点です。

【会長】

大変貴重なご意見、コメントありがとうございます。

では、ただいまのご意見、コメントについてよろしくお願いいたします。

【事務局】

少し所感のような形になってしまいますけれども、お答えさせていただきたいと思います。

事務局のほうも、パブリックコメントがあつてよかったなというふうに思っておるところでございます。評価・検証については、ホームページ、新しくなりましたが、そちらでも紹介させていただいていますし、評価・検証の結果についても町民に分かりやすく周知して

いくように考えていきたいなというふうに思います。その中では、専門用語なんかをなるべく使わないように、広報全体に言えることだと思えるんですけども、そうした工夫をしてみたいと思います。

また、これからの社会状況の中で、役場で全て進めていけるような時代ではなくなってきておりますので、いろいろな主体の方々の協力を得て、評価・検証を行いながら、まちづくりを進めてまいりたいと考えております。

2点目の国の制度につきましては、今、国のほうでは様々な制度等ができてきておりますので、私たちも事業を進めるうえではそうしたものを調査・研究して、なるべく財源の確保をして事業を実施するようにしてきているところですけども、引き続きそういったところは町全体でしっかり進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。

やはり今回の提案に対して、総合戦略に掲げた共創と協働という、そういったところが大きなポイントになるかと思っています。ただいまご意見をいただいたように、役場の職員だけでやっているんじゃないというところを知っていただくこと、あとは実際に役場と連携して事業者さんなり団体さんがどうしているか、というのをもちろん役場の方は管理はするでしょうけれども、やはりそういう状況もあくまで理想的なお話ですけど、町民の方々がそれをご覧になって、ご意見、お声を寄せていただくという形もある意味やっていったらいいのかと。くまなく町役場の方が見切れないということも当然ありますので、そこが共創・協働というところのポイントで、地域を動かすであるとか、もしくは見守るという、そういった意識が、町にはとても重要になるのかなと思ったところです。

あと、国の制度は、これは役場の方はなかなかおっしゃりにくいですけども、私の知っている範囲で申し上げますと、国の制度はなかなか100%補助が出ないんですね。半分とか3分の1とかというふうに、それに手を出したら次をやっつけていかなきゃいけない、そういうなかなか難しい財源ですが、補助金を取るためにハードルを下げてという兼ね合い等もあると思います。そういったところは、多分戦略と照らし合わせながら適した制度を研究されているんじゃないかとは思っているところです。

大学にも研究費がありまして、いろいろ方法があって手を出すべきか出さないでおくべきか、出してしまうと逆に大変になってしまうんじゃないか、ということがあったりするので、そういう兼ね合いもよく踏まえたうえで、おっしゃるようなご意見も十分ありえることだと思います。ありがとうございます。非常に勉強になりました。

【委員】

これからどうしようかということをしっかり考えてもらいたい。この年になって、この町が消滅するということはないと思いますけれども、本気で考えていただきたいという思いです。

パブリックコメントとかいろいろ審議会がありますけれども、ここに書いてある答弁、参考とさせていただきますというのでは本気度が伝わらない。本当にやる気があるなら、これだけのものを全部やろうと思えば本当に予算も足りないし、できるわけがない。前々にも私、この審議会で言いましたが、首長と議会がどちらの方向を向いているのか、我々は、この町が良くなってほしいという思いを審議会で言っておるわけですよ。我々の言葉、意見というのは、果たして首長とか皆さんが、真剣に思っておられるのか、すごく思う。もっと言えば、私、言い添えたいこともあるし、残りの時間が少ないから、しっかりしたことをやっただくというのは町の役割だと思いますし、聞いた事をやってもらおう所も仕事なんやで、全部が全部できるわけがない。

この町をどうしようか、という首長の意見を私は聞きたいと思うし、海津が立派なのは、いろんな、日経なんかに書いてありましたが、各自治体に民間からいろんな人を入

れている、キャリアとして。だから予算の取り込み方がうまい。行政としてそれなりのアンテナを上げているけれども、今、油の値段がめちゃくちゃ上がっていますよね、油、ガス。これについても、海津はタイムリーに事業者に対してエネルギーの補助を出している。養老町は3,000円にしましたかな。それで果たしていいのか、予算との関係もあるんで難しいとは思いますが、1万円ぐらい出すという話も聞いています。

何かね、一貫性というか方向性、この町をどうしようかということの本気度が伝わらないということを私は言いたい。そういうことですので、首長とか、議会の先生方がおいでになりますので、本当にしっかり考えていただきたいし、国会のものは必要ない、この町にできるわけがない、財政が厳しい中で。その辺りをどう思っておられるか聞きたい。よろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございます。では、ただいまのご意見について。

【事務局】

毎回毎回、厳しいご意見をいただいて、いつも苦肉の答弁をするわけでございますが、まず1つ、今回の総合戦略はやれることの最低限が入っていると思いますので、ここに書いてあることは全部やります。KPIを挙げておりますが、KPIの中で本当になかないものというものも出てきます。これは仕方ないことと思っています。KPIの立て方についてはいろいろあって、簡単なものを簡単なハードルで立てればクリアできますが、そんなのばかりではやっているということにはできませんので、中には高いハードルも設けないといけないということで、ここに載っている事業は全部やるということと、あとさっき他の委員さんがおっしゃられたように、皆さんのご協力を得ながらやる事業もたくさん入っておりますので、うまく前に進めながらハードルを全部越えていきたいなと思っています。

あと、海津のお話等々ありましたが、自治体によっていろんな状況が違います。山間部の自治体の例が合うかといったら合わないですし、離島の例が合うかといったら合わないです。そこでいいことがあったらといってうちで取り入れてもいいことはないんですけど、その中で町として今狙うべきところはどこかというところは長期的に見ていきたいと考えておまして、今は子育て世帯の支援といったところに注力しているということです。

企業誘致もしっかり頑張っておるんですけど、なかなか成果として上がってこないの、住民のみなさんから見ると、何をやっておるのかと思われることはあると思います。しかし決してやっていないわけではないですし、そういったところでPRが下手だと思いますので、地道に取り組むべきことはもう少ししっかりいろいろと周知していきたいなと思っています。

何にしろ町長の思いは町長の思いですし、町議会議員の方々も思いを持って、町政がよくなるようにというふうを考えてみえると思いますので、そこはちょっと温かい目で見ただいて、意見は意見で何回も言っていたらいいので、決して反映しないわけではないので、そういったところをご理解いただきたいと。そういうことでご了承いただきたいと。思います。

【会長】

ありがとうございます。

個人的な意見ではありますが、いい方向に進めるにはそれなりに時間がかかるものなのかという気はしますので、ひとつ理解いただきたいところですね。

【委員】

この町が何でこれから食っていくか。自己財源をどこに求めるか。一番思うのは、この養老鉄道。烏江駅から高田へ来て、桑名へ行くのに山側を全部走っておるわけですよ。養老鉄

道の東側は用地がないので企業誘致は無理。この地形、特性を生かすにはやっぱり私は観光しかないと思う。歴史があるし、インフラも整備されて養老鉄道もあるし高速道路もある、知名度もある。それで、観光でやっぱり産業を、食肉関係もありますので、そういうところでそれよりも企業誘致って非常に難しいと思います。観光で交流人口を増やして、その中で消費をしてもらう。飛騨牛じゃないですけど、ふるさと納税ないしはそういうところに力を入れる。私は、この町はそういうところでしか無理だと思います。

今言いましたように、過去に立川勇次郎が養老鉄道を造ってくれましたが、伊勢湾台風のときに全部水につかった。私は覚えていますけれども、烏江から見たら、高田以外、全部水につかっている。そんなところに企業誘致やっている。高速道路もそうでしょう。東海環状は全部高架で通っています。水がついても水が流れるようにしてある。東周りとは違う。そうになっているのを重々理解して、企業誘致は簡単にはできないと思う。それよりもやっぱり観光で食べる、交流人口を増やす、それから大々的に打って出て輸出、難しいですけど、それしかないと思います。何か非常に大きくこの町をどうしようということを私は求めている、一番は。

そういう良いものがあるもので、今のうちに手を打たないとどうしようもなくなるので、役場の職員には頑張ってもらいたいし、予算もしっかり押さえていただいて、いろんなエネルギーが本当に高騰したときに、我々一番思うんだね。福島原発事故があったときに、日本はエネルギー政策を解除しちゃった。日本はそれだけの技術を持っていたんですよ、それがなくなって化石燃料に頼っていた。あれから20年、30年たっているわけですよ。日本はそのときに、次のエネルギーを開発することができた。それをおざなりにして有事になって、今は原油が上がってどうしようもない。根本的なこととして考えてほしいことは、養老町が何で財政を豊かにするか。やっぱりそういうところを考えてもらいたい、今答えを出せとは私は言いませんが、それが私の思いです。

【会長】

ありがとうございます。

【委員】

先ほど委員が言われたことに関連だと思いますけれども、先般の議会でもやっぱり我々の側からふるさと納税のこととか、前までは10億近くあったけど、それからちょっといろんな形で5億ぐらいに減りまして、そうした中で職員のほうも町長をはじめいろんな形で町内いろんな取組をしながら今ようやく10億近くまで戻ってきた。そうした中で、職員以外も含め一生懸命頑張っております。ふるさと納税は、肉が8割から9割になってきましたけれども、それ以外にもいろんな形で職員も考えています。

財源もそういった形で徐々に、今回の議会でも、子供の給食費、小学校は無償、中学校は5割まで上げ、高校はタブレットを少しでも補助できないかということで5万円ほど補助。そういった形で、まず子供たちがどういうふうに将来的に町にいてくれる、子供らがどうしてここに残っていただけるかを考えながら、行政自体も我々議員としても考えています。

今回の議会でも65歳以上にギフト券というのを1万円ほど郵送で。海津とかも出しているんですが、一番早く初めに補助金を出したのは養老町です。ギフト券を出したのは12月議会で一番早かったです。その後ほかの地区でも出ているんですが、それではあかんやろうということで、町長のほうも皆さんに少しでも負担をおかけしないために、少しでも補助できるんじゃないかということで、先ほど言ったように子供たち、そしてお年寄りにもギフト券1万円という形でやります。

町と議会とでいろいろ話をしながら、私も住民のある程度の生活を守るにはどうしたらいいかということを考えてやっています。我々としても議会だけではありませんけれども、そうした提案を町長なり行政の職員にしていきたいなということで、またいろんな形で皆さんにも応援してもらいたいなと思います。ぜひ、議会も傍聴してほしいなということです。以

上です。

【会長】

議会の状況等含めてお話しいただきましてありがとうございます。

お時間もそろそろですが、そのほか何かご質問等ございますでしょうか。

では、前回この総合戦略についての案ということをご承認はいただいたわけですが、最終的に今回の協議議題について、改めてパブコメも含めた大きな修正、戦略案の修正の必要がないとして、最終的に皆さんのご承認というか、ご意見をお諮りしたいなというふうに思っております。

ただいまいろいろご意見等をいただきましたが、総合戦略もしくは役場、町として取り組む具体的な活動をいただいたご議論を踏まえながら進めていただきたいというふうに考えているところでございます。

では、今回の委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、必要な修正は特に大きくはないかなと思っておりますけれども、第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）とすること、これについてご賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員】

（全員挙手）

【会長】

ありがとうございます。

皆様、挙手いただきまして、全員賛成となったことをご承認いただきました。誠にありがとうございます。

本日の審議会において、今回いただいたご意見等を踏まえて今後の取組に活かしていただきたいと思っております。

では、この第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略について、昨年町長から諮問をいただきましたので、最終的な答申として町長へ報告を差し上げたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

では、続いて、協議事項（3）ですが、そのほか、事務局よりお願いいたします。

【事務局】

本日ご承認いただきました第3期まち・ひと・しごと創生養老町総合戦略（案）につきましては、後日、本審議会および委員会から答申をいただいたあと策定を行いまして、既に策定しております、養老町まちづくりビジョン後期テーマ別戦略と一体化を行ったのち、公表する予定でございます。

計画書の製本を行いましたら、委員の皆様にもお配りさせていただきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

事務局からは以上でございます。

【会長】

ご説明ありがとうございました。

また、今のご説明につきまして何かご質問などございましたら挙手をお願いいたします。

ありがとうございます。では、以上をもちまして本日の協議事項は終了といたします。闊達なご意見ありがとうございます。

今回、最終的な会議ということになりますますが、私個人的にはご一緒させていただきまして、

闊達な会議だったというふうに常々思っております。いろんなご意見があるということは町当局に対して激励をいただいているというところ、そこは厳しいご意見も含めてとても重要な場であるというふうに考えております。

今回、若い方も含めて様々な方々が今後町での活躍を期待して、そこから今度、先ほど申し上げたように共創・協働ということがちょっと分かりにくいかもしれませんが、一緒になって、役場の方だけが関わるんじゃなくて町民の方々も含めて一緒になって取り組んでいただくような体制が今後より必要になってくるんじゃないかと思っております。

そうしますと、やはり役場からの情報の提供、分かりやすい情報を提供したかという工夫が当然必要かと思いますが、それに対してきちんと住民の方々、地域の方々が注目しつつ、きちんと見守って自分事として取り組む、これが今後養老町さんに限らないんですけど、いろんな市町村を拝見していますと、そういった住んでいる方々が自分事としていかに捉えるかというのは今後大きな流れをつくるために必要なポイントになるかというふうに思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

では、慎重審議大変ありがとうございました。

では、進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

長時間、また長期間にわたり、大変お疲れさまでした。

これにて、令和7年度第4回 養老町計画審議会及び養老町地方創生推進委員会を閉会させていただきます。

本日は大変ありがとうございました。